

初来日のラニクルズを聴く——

耳を疑ったとはこのことだ。2025年11月、ドナルド・ラニクルズのドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者就任コンサートを聴いた後、マエストロ本人からこう聞いた。

「実はまだ一度も日本に行ったことがないですよ」

ラニクルズの輝かしい実績を考えると、意外としか言いようがない。サンフランシスコ歌劇場の音楽監督を17年、BBCスコティッシュ交響楽団の首席指揮者を7年、そして2009年から16年にわたって務めてきたベルリン・ドイツ・オペラの音楽総監督を今シーズン限りで退任する。シンフォニーの分野でも、ベルリン・フィルへの客演などで忘れがたい演奏会を筆者はこれまでいくつも聴いてきた。

本拠地の文化宮殿で聴いたこの夜のコンサートも、じっさい素晴らしかった。ブラームスの交響曲第4番では、暗く深みのある

ドレスデン・フィル伝統の音色と共にしみじみとした情感を味わったし、英国出身のラニクルズらしいヴォーン・ウィリアムズとウォルトンのレパートリーからは、この楽団の新しい可能性が浮かび上がった。

「私は常にオペラとシンフォニーの両方を取り組んできました。それらの仕事は互いに育て合うのです」と語るラニクルズは、膨大なレパートリーを自らの養分として蓄積してきた。この2日後、彼がベルリン・ドイツ・オペラで指揮したワーグナー《トリスタンとイゾルデ》も最美の演奏だった。ジャンルは異なれど、「歌」に満ちたマーラーの交響曲をラニクルズが得意とするのも納得がゆくはずだ。

まさに「待望の」という以上の、ラニクルズとドレスデン・フィルのコラボによる初来日公演になるのではないだろうか。

中村真人 (音楽ジャーナリスト/ベルリン在住)



サー・ドナルド・ラニクルズ (首席指揮者)
Sir Donald Runnicles, Chief Conductor

サー・ドナルド・ラニクルズは45年の長きにわたり、世界有数のオペラハウスやオーケストラと関係を築いてきた。2025/2026シーズンは16年にわたる、ベルリン・ドイツ・オペラ音楽監督としての最終シーズンであり、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者としての最初のシーズンでもある。また、グランド・ティトン音楽祭音楽監督、シドニー交響楽団初代首席客演指揮者を務めている。これまでにサンフランシスコ・オペラ、BBCスコティッシュ交響楽団、セント・ルークス管弦楽団、アトランタ交響楽団首席客演指揮者を務めてきた。ヨナス・カウフマンとのワーグナー・アリア集は2013年のグラモフォン賞を受賞し、ヤナーチェク『イェヌーファ』の録音は2016年のグラミー賞にノミネートされた。スコットランドのエディンバラ出身。2004年にOBEを受章し、2020年にはナイト・バチラー (騎士) の称号を授与されている。



亀井聖矢 (ピアノ)
Masaya Kamei, Piano

2022年、ロン＝ティボー国際音楽コンクールにて第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞。2025年、エリザベート王妃国際コンクールにて第5位を受賞。2019年、日本音楽コンクール第1位、及び聴衆賞受賞。同年、ピティナ特級グランプリ、及び聴衆賞受賞。2023年には、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、出光音楽賞を受賞。これまでに、ワルシャワフィル、ブダペスト響、N響、読響など国内外のオーケストラと多数共演。2022年12月には、1stフルアルバム『VIRTUOZO』をリリースし、「レコード芸術」誌にて特選盤に選出。また、「情熱大陸」「題名のない音楽会」などメディアでも多数取り上げられるなど、今もっとも勢いのあるピアニストとして注目されている。
<https://www.masaya-kamei.com/>



榎本大進 (ヴァイオリン)
Daishin Kashimoto, Violin

フリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーの両国際音楽コンクールでの1位など、5つの権威ある国際コンクールで優勝。マゼール、小澤征爾、ヤンソンス、P.ヤルヴィなど著名指揮者のもと、国内外のオーケストラと共演。室内楽でも、クレーメル、堤剛などと共演を重ね、現在、兵庫県で「ル・ポン国際音楽祭～赤穂・姫路」を音楽監督として率いている。主なCDに、ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集(ワーナー・クラシックス)など。2010年にはベルリン・フィル第1コンサートマスターに正式就任。ソリスト活動と並行し、ヨーロッパ楽壇の最前線で活躍している。これまで、恵藤久美子、田中直子、ザハール・ブロン、ライナー・クスマウルに師事。使用楽器は、株式会社クリスコ(志村晶代表取締役)から貸与された1744年製デル・ジェス「ド・ペリオ」。



ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 Dresden Philharmonic

150年の伝統を誇る、ザクセンの州都ドレスデンのオーケストラ。1870年にドレスデン初の大型コンサート・ホールが建設されて以来、同楽団のコンサートは、ドレスデンの文化的生活における重要な柱となってきた。1967～1972年のクルト・マズアのほか、歴代の首席指揮者には、バウル・ファン・ケンベン、カール・シューリヒト、ハインツ・ボンガルツ、ヘルベルト・ケーゲル、マレク・ヤノフスキ、ラファエル・ブリューベック・デ・バルゴス、ミハエル・サンデルリンク等がいる。2025/2026シーズンからドナルド・ラニクルズが首席指揮者に就任。音楽的にも様式的にも幅広いレパートリーを持ち、ロマン派作品においては独特な「ドレスデン・サウンド」を維持しつつ、バロック音楽、ウィーン古典派、そして現代音楽に必要なサウンドとスタイルの柔軟性も培ってきた。また、世界各国への客演もクラシック音楽界の同楽団への高い評価を裏付けている。

2026年 その他の日本公演全国スケジュール

★ソリスト：亀井聖矢

- 6/19(金) 19:00 福岡シンフォニーホール(アクロス福岡) ★
【問】アクロス福岡チケットセンター 092-725-9112
- 6/20(土) 14:00 ザ・シンフォニーホール ★
【問】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
- 6/21(日) 15:00 愛知県芸術劇場コンサートホール ★
【問】CBCテレビ事業部 052-241-8118
- 6/26(金) 19:00 文京シビックホール 大ホール★
【問】シビックチケット 03-5803-1111
- 6/27(土) 14:00 所沢市民文化センター ミュウズ アークホール ★
【問】ミュウズチケットカウンター 04-2998-7777

X (旧Twitter)でフォローする
@japan_arts

＜割引チケット・車椅子席のご案内＞

ジャパン・アーツびあ、神奈川芸術協会(6/23・28)にて受付

◎シニア割引(公演当日65歳以上)：S席を¥19,000、A席を¥16,000でお求めいただけます。

◎学生割引(社会人学生を除く公演当日25歳以下)：各ランク半額にてお求めいただけます。残席がある場合に限り、5月22日(金)10:00より受付を開始します。当日は顔写真付き学生証を提示のうえご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴します。)

◎車椅子の方は、ジャパン・アーツびあコールセンターへお問合せください。

【次のことをあらかじめご了承のうえ、チケットをお求めください】

①やむを得ない事情により、出演者・曲順・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、チケット購入後のキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。開演時間に遅れると、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕をもってお越しください。④未就学児の同伴はご遠慮ください。就学児以上の方もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑤全席指定です。券面に記載された指定のお座席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等電子機器の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売はトラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。